

有用二枚貝の保護、調整指導について

玉 城 正 雄

1. 目 的

シャコ貝はサンゴ礁浅海域に生息する重要な食用二枚貝である。

近年その需要が増大し、そのために周年を通じてのシャコ貝採取者が多く、資源が著しく減少してその保護対策が急務となっている。

2. 概 要

昭和49年9月26日（農林省告示第888号）で川平湾とその周辺海域約275万㎡がシャコガイ、クロチョウガイ等の保護増殖を目的として保護水面の指定を受け水産試験場八重山支場が管理している。漁民は、その研究成果に大きな期待を寄せている。支場での主な調査研究は次のとおりである。

- (1) シャコガイの生息状況調査
- (2) " 生殖巣部重量調査
- (3) " 放流効果調査（放流技術開発試験）
- (4) " 生長量調査
- (5) " 種苗生産に関する試験

現在の乱獲状態では資源の枯渇はまぬがれないので支場の担当研究員協力のもとに採取業者に対し、積極的な保護対策を進めるための指導啓蒙を実施した。

- (1) 漁民との会合には保護水面での採取禁止及びサイズの小さい物は採取しない様指導した。
- (2) 八重山では旧歴の3月には浜下りの習慣があり、そのため監視を兼ねての指導をした。
- (3) 漁村青少年協議会の委員を通じて漁民への指導方をお願いした。
- (4) 八重山産業祭には一般市民へ沖縄県漁整規則の抜すい及び保護水面のパンフレット配布した。

3. 今後の課題

- (1) 漁獲サイズの制限
- (2) 禁止期間の設定
- (3) 放流技術の早期開発（水試への要望）